

2024年5月14日

学校法人三幸学園
沖縄リゾート&スポーツ専門学校
校長 萩原 知子 殿

学校関係者評価委員会
委員長 山下 直樹

学校関係者評価委員会実施報告

2023年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 山下 直樹 (株式会社国際ビル産業 営業部)
- ② 浅井 弘毅 (株式会社ルネサンス ライカム 24 支配人)
- ③ 水澤 順一 (飛鳥未来きずな高等学校 沖縄キャンパス主幹教諭)

2 学校関係者評価委員会の開催状況

2024年5月14日 (会場 沖縄リゾート&スポーツ専門学校 201 教室)

3 学校関係者委員会報告

以下「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

2023 年度 学校法人 三幸学園 沖縄リゾート&スポーツ専門学校 自己評価ならびに学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 坂東 真弥

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 山下 直樹

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、スポーツ分野の学校として「スポーツを通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、スポーツ分野として「スポーツを通じて健康と楽しさを提供できる人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

<教務目標> ■スポーツ業界・各コースの業界、授業に魅力を感じ、生徒が学びがいを持って学校に通っている

■挨拶&報連相風土・社会で始めに必要な当たり前のスキル「あ・い・さ・つ・だ」を学生へ浸透
生徒を理解する為の「報連相」を全教員で徹底する

■教育の質向上・各分野・教科において教員が目標を設定し自ら手応えを感じられる結果を得る
(参考→出席率・単位不良・授業アンケート・資格取得率など)

■進級・卒業率…94%以上

<キャリア・就職目標>進路決定率 100%

① 前年度重点施策振り返り

授業アンケートの結果は、授業に対する先生の熱意を感じる 3.82(4点満点中)、授業方法は生徒の興味をひくように工夫されていた 3.74(4点満点中)など、重要視している項目は全国同分野姉妹校 10 校の中でも上位に位置し、卒業生アンケートの結果に関しても、在学中を通してどのように感じられましたか(教職員の熱意・愛情) 3.81(4点満点中)、本校で成長することができましたか 3.62(4点満点中)など、重要視している項目は全国同分野姉妹校 10 校の中で最も高かった。一方、授業中の私語や居眠り、授業前後の挨拶に関しては、全国同分野姉妹校の中でも下位に位置している。工夫を行いながら授業展開や学校運営を行っていたが、今後さらに魅力的な授業を行うとともに、規律や挨拶なども整えていきたい。進路・就職決定率に関しては、卒業式までに100%と非常に良い結果を出せたので、今後も継続できるように努めていきたい。

進級・卒業率は 88.4%と目標に届かない結果となった。特に 1 年生の進級率に課題が残る結果となっており、早い段階で進路変更や就職してしまう、生活習慣のみだれなどから遅刻・欠席を繰り返し、単位不良、退学に繋がってしまうといったことが多くあったので、早い段階から業界や授業の魅力の伝達、良い生活習慣、登校習慣などを作っていくノーム作りを強化し、改善に繋げていけるように 2024 年度は取り組んでいく。

② 学校関係者評価委員会コメント

- ・ 授業アンケートの結果で重要項目の内容は、全国同分野姉妹校10校の中で上位に位置したことは、授業内容及び学校運営の創意工夫が伝わり高評価に繋がったと思われます。(山下委員:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)
- ・ 進学・卒業率は、目標に届かない点については学校環境の向上を目指し改善に取り組まれて下さい。(山下委員:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)
- ・ 本校で成長することができましたかの数値は、全国同分野姉妹校10校の中で最も高く学校での自己成長を基に卒業後、社会での更なる成長の期待が持てます。一方、1年生の進級率に関しては、早い段階でのノーム作りを期待します。(山下委員:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)
- ・ 教務目標 挨拶風土について 御校での弊社業務(清掃、設備点検)時の清掃員及び技術員に対して分け隔てなく明るい挨拶を行う、教職員・学生が多数おり、御校での取り組み、卒業後に社会人で必要なスキル「あ・い・さ・つ・だ」の成果が浸透しており今後も教務目標の継続をお願いします。(山下委員:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
学校の理念・目的・育人人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
学校の理念・目的・育人人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育人人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

① 課題

- ・ 理念・人材育成像を明確に掲げ、提示・説明しているが、様々な場面で繰り返し伝えつつしていく必要がある。
- ・ 栄養面の指導も行える人材が求められている傾向があるので、本校も強化していく必要がある。
- ・ 学んだ知識や技術を、しっかりとアウトプットできる人材育成を強化していく必要がある。

② 今後の改善方策

- ・ 繰り返し教員から、様々な場面で理念・人材育成像を伝え続けていく。
- ・ 2024年度よりスポーツトレーナー科栄養トレーナーコースの開設。(初年度14名)
- ・ 総合演習や実習、学校行事などを通じて、オンライン、学んだ知識や技術を学生の間からアウトプットする機会を増やしていく

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

理念・人材育成像を明確に掲げ、提示・説明について引き続き生徒に伝え続けてほしい。(山下委員:スポー

ツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)

昨年度より計画しておりましたスポーツトレーナー科栄養トレーナーコースの新設により充実した教育を期待します。(山下委員:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)

技術・知識のインプットだけでなく、人間教育(コミュニケーション・リーダーシップ)などアウトプット出来る機会を学校教育現場として引き続き提供してほしい。(浅井委員:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)

(2)学校運営

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

- ・ コロナが 5 類に変更されことに伴い、従来通りの行事や実習が実施できるようになったため、情報共有・収集の強化、システム化などをより進め、働き方改革を進め、より効率的かつ効果的な業務遂行、学校運営を行っていく必要がある。

② 今後の改善方策

- ・ 2024 年度は統合に伴い、使用校舎も複数にわたる為、可能な限り計画的な運営、かつ安定した運営を行っていく。
- ・ 全国に姉妹校があるスケールメリットなども活かした、情報収集などによる効率化、情報システム化、業務の仕組化、OJT・OFF-JTによる育成システムの構築による教職員のレベルUPを図る。

③ 特記事項

- ・ タブレットを活用して出席管理を行うこと、TEAMS などを使い情報共有を行う、経費採算システムなど、ここ数年間で新たに導入したシステムを軌道に乗せることができている。
- ・ 2024 年度より、沖縄プライダル&ホテル観光専門学校と統合し、リゾート観光エアライン科(2 年制課程)が追加。

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・ コロナの5類変更に伴い、今年度は、活動行事や実習等の制限が無くなり事業計画通りの実施が見込まれますので引き続き情報共有・収集等を強化し活動、実習を実施願います。(山下委員:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)

情報システム化による学校全体での情報共有や業務の効率化等、今年度もシステムを活用してさらに効率化を期待します。(山下委員:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)

統合に伴い複数の使用校舎の活用等、働き方改革を踏まえてより効率的かつ効果的な業務遂行、学校運営の実施をお願いします。(山下委員:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)

リゾート観光エアライン科(2年生課程)が追加された事により、生徒及び業務過程が増えますが、従来の高いレベルでの業務遂行を期待します。(山下委員:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)

(3)教育活動

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

① 課題

- ・ 充実した実践的な職業教育の場を提供できているが、生徒数が増加しているため、更に関連分野や関連企業・団体との連携の強化を行い、今後増やしていく必要がある。また生徒への動機づけなどを強化し、実習などの参加者を増やしていきたい。
- ・ 教員の指導力向上のための機械や、研修の場をより増やしていく必要がある。

② 今後の改善方策

- ・ 業界との繋がりを強化、実習先の充実に繋がられるように、積極的に情報収集や企業訪問を実施する。
- ・ 卒業生などにも協力してもらい、実習などに対する生徒への動機づけを強化する。
- ・ 教員研修を積極的に実施していく。また授業見学 WEEK を設定し、お互いに学びあい、指導力を向上させていける環境を作っていく。

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・ コロナの5分類変更により今後は、関連分野や関連企業・団体との連携した実習活動が本格化すると思われますので卒業生の協力を得て実習参加者増員の取り組みをお願いします。
(山下委員:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)
授業見学を通じてお互いの良い悪い点を学び授業にフィードバックし生徒の学力向上に繋げて下さい。
(山下委員:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)
学生生活にアルバイトを通じて、業界理解を深め自信が目指す将来像に下積み期間として活かしていただきたい。(浅井委員:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)

(4)学修成果

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	3
退学率の低減が図られているか	2
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

- ・ 3期生の就職率は100%であったが、より希望・ニーズにあった就職先(求人)を充実させていくこと。(特に沖縄内での就職先の確保)
- ・ 資格取得率を向上させていくこと。
- ・ 退学率を低減させていくこと。(特に1年生の退学率)
- ・ 卒業後の卒業生との関係性の構築していくこと。(卒業生用公式 LINE や、学園独自のシステムなど関係性を構築できる環境は整えられている)

② 今後の改善方策

- ・ 就職先の更なる充実 ⇒ 企業や施設への訪問、情報収集を強化することで求人を獲得していく。全国の姉妹校とも連携し、企業との連携を強化して、就職に繋げていく。
- ・ 主要資格での高い取得率実現、その他資格取得率の向上。⇒ 姉妹校との連携強化、教科会の定期開催、授業・資格対策の質向上。

- ・ 退学率低減 ⇒ 授業・学校生活での業界魅力伝達の強化、保護者との連携強化。担任制度をチーム担任制にし、生徒やクラスの状態にあった教員が対応できる体制を整備。生徒との関係の質を大切に、特に初めの段階でどの担任、どの先生に相談しても OK なことを伝達し、学科、クラス、担任の枠を超えて生徒と関わられるようにする。また定期的にアンケートを実施し、悩みなどを把握、相談しやすい環境作りを実施。
- ・ 卒業後の関係性の構築 ⇒ 構築している仕組みを軌道に乗せていく。

③ 特記事項

全国展開している姉妹校との連携により、資格取得に向けた傾向と対策を実施。また退学率低減についても教育開発部が主導となって、退学者への様々なアプローチを実施し、低減に努めている。

④ 学校関係者評価委員会コメント

昨年(2期生:97.1%)と比較して高い就職率(100%)については、授業内容の創意工夫と就職先への働きかけによる成果です。今後も引き続きよろしくお願いたします。(山下委員:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)

- ・ 今後の改善方策について、退学率低減に取り組む新たな試みの成果を今後に期待します。(山下委員:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)

(5) 学生支援

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

① 課題

- ・ 進路・就職支援体制に関しては、生徒数、沖縄県内への就職希望者が多いことを踏まえて、沖縄県内での求人の獲得強化が課題。
- ・ 生徒がより悩みなどを相談しやすい環境を作っていきたい。
- ・ 学校独自の特待生制度や、学費サポート制度、スクールカウンセラーの設置など体制を整えているが、制度だけでなくチーム担任を中心として、学生がより相談しやすい学校、生徒の変化に教員から気付き声をかけられる学校にしていきたい。また、卒業後の支援体制も軌道に乗せていきたい。

② 今後の改善方策

- ・ 企業訪問、連携などを強化し、沖縄県内からの求人確保に努める。
- ・ チーム担任制を導入し、生徒に初めの段階でどの担任、どの先生に相談しても OK なことを伝達。また定期的にアンケートを実施し、悩みなどを把握、相談しやすい環境作りを実施。
- ・ 生徒との関係の質を大切にし、この先生・この学校は信頼できる、相談できるといった関係性を構築していく。生徒やクラスの状況にあわせて、あつていそうな教員が面談や対応を実施。入学・進級直後での面談に加えて、学科、クラス、担任の枠を超えそれぞれの教員が各クラスに顔を出し、生徒の変化などを確認する、声をかける機会を増やす。また、教員間での情報共有をより加速させていく。⇒生徒の変化などをよりタイムリーに把握し、必要に応じて保護者の方にも協力頂き対応していく。
- ・ 支援体制の仕組化を進めていく。
- ・ 同窓会 Sanko-Link や、卒業生用公式 LINE を活用し、卒業後の支援体制を軌道に乗せていく

③ 特記事項

- ・ 高校や協会などと連携し、部活動や、キャリアに対するサポート、取り組みを積極的に実施できている。

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・ 学生が安心して楽しい学校生活を送れる環境作りを今後も継続をお願いします。(山下委員:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)
- ・ 改善案のチーム担任制について教育に携わるすべての先生に相談できる試みは、学生が気軽に悩み・相談が出来る支援だと思えます。(山下委員:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)
- ・ 気軽に連絡や相談できるツールがあることで、欠席しやすい環境が逆に再設定されてしまう可能性もあるので、使い方や、学校生活に支障が出ないように活用が必要だと思えます。(浅井委員:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

① 課題

- ・ 社会情勢、生徒数などを踏まえながら、実習、インターンシップ先の確保、質の向上を進めていく必要がある。また、卒業後でも希望者は学校の研修に参加できるような体制を構築していきたい。

② 今後の改善方策

- ・ 教員(非常勤講師含む)、姉妹校や高校、企業や教会との繋がりなども活用しながら、学内外での実習を充実させていく。
- ・ 卒業後でも希望があれば学校の研修などに参加できる体制を整えていく。
- ・ 新校舎の設立に伴い、新たに第二トレーニングルームを設置

③ 特記事項

- ・ 沖縄校全教室に PC プロジェクターが設置されており、Wi-Fi 環境も整っている。
- ・ 2023 年度に沖縄県で実施されたバスケットのワールドカップにも生徒がボランティアとして参加。
- ・ FC 琉球様、琉球ゴールデンキングス様、琉球コラソン様、琉球アスティータなどのプロチームや、高校の部活動など連携し実習活動を行っている。
- ・ 海外研修(アメリカ)の実施

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・ 就業した卒業生への学校研修参加について在校時で習得した技術の再確認が出来る機会が持てる体制については大いに期待します。(山下委員:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)
- ・ 全教室に PC プロジェクターの導入で教育環境向上について評価します。(山下委員:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)
- ・ プロ、アマ問わず各スポーツチームを通じて実習活動の場を設ける活動を引き続きお願いします。(山下委員:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)
- ・ バスケワールドカップのボランティア参加につきましても生徒のボランティア精神及び国際大会への貴重な経験になったと思います。(山下委員:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)
- ・ 新たに海外研修制度の実施により生徒のキャリア向上が期待できる制度に期待します。(山下委員:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)
- ・ 防災、安全管理につきまして火災避難訓練を毎年実施し教員・生徒の安心・安全な教育環境の継続を
- ・ 引き続きお願いします。(山下委員:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)

(7) 学生の受入れ募集

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

- ・ 定員充足率を上げていく。
- ・ 奨学金や高等教育無償化に関して、高校でしっかりと説明を受けていないケースが多くあるので、オープンキャンパスなどを活用して、本校からも説明や告知を行っていく必要がある。(2023 年度は大きな問題や混乱なく対応することができていた)
- ・ 入学してみたら、座学が思ったよりも難しかったなどの話が上がることもあるため、募集活動とのギャップを埋められるようにしていく必要がある。

② 今後の改善方策

- ・ SNS にて学校の魅力を発信する、進路ガイダンスに積極的に参加する、早期対策などを含めた広報活動の更なる対策強化を行う。
- ・ オープンキャンパスや、進路ガイダンス、高校訪問などで十分に説明、告知を行っていく。
- ・ 学びがどのように現場に繋がっているかなどを伝える初期教育を強化し、座学含めて生徒が前向きに学べるように対策していく。
- ・ 県内高校の大学進学率増に伴い、大学と専門学校との違いを説明していく。
- ・

③ 特記事項

- ・ 一般社団法人沖縄県専修学校各種学校協会に加盟し、同会で定められた生徒募集ルールに則り取り組んでいる。併せて、沖縄広報室からの支援も受けて募集活動に取り組んでいる。

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・ 将来への高い希望をもって入学した学生を奨学金や高等教育無償化等の問題で就学意欲の低下による学力低下や早期退学の事態が起きないようにオープンキャンパスや、進路ガイダンス、高校訪問などで十分に説明、告知を行っていく取り組みをお願いします。(山下委員:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)
- ・ 募集活動時に座学の難易性等、当初描いていた入学後の学校生活でのギャップを感じないような説明をお願いします。(山下委員:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)

(8)財務

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

今期は第3次中期計画(2023年度～2027年度)の初年度であり、ホームページ上に公開している。今後は当該計画の達成状況等についても公開予定である。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

- 自己評価で浮き彫りになった課題を解決していく必要がある。

② 今後の改善方策

- 各項目、自己評価で浮き彫りになった課題に対して、しっかりと改善策を実施していく。

④ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

- 引き続きコンプライアンスを遵守、情報公開を行い適正な学校運営をお願いします。（山下委員:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について）

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	1

① 課題

- 積極的に社会貢献活動・地域貢献活動を実施できているので(SDGS に繋がる活動、最新技術・機器を活用した部活動応援プロジェクト、チームや部活、選手への施設の貸し出しや、サポートなど)、継続・強化していくこと。

② 今後の改善方策

- 社会貢献活動・地域貢献活動・ボランティア活動を引き続き継続・強化していく。

③ 特記事項

- 琉球ゴールデンキングス様や、琉球コラソン様、陸上日本代表選手、高校の部活動など様々な団体、選手などに対して施設の貸し出しや、サポートを実施している。

③ 学校関係者評価委員会コメント

SDGsに繋がる活動、最新技術・機器を用いた各スポーツ教室等、社会・地域貢献活動・ボランティア活動の継続を引き続きお願いします。(山下委員:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)
 地域貢献活動時に、ワンコイン徴収し首里城復興などにも還元できるイベント開催などもできるのではないかと、引き続き検討をしていきたい。(小川さん:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

コロナ禍以前の従来通りに近い学校運営となったが、創意工夫を行いながら学校運営や、様々な取り組みを進めることができ、良い形で3期生を送り出すことができた。就職率は卒業式までに100%、その他社会貢献活動・地域貢献活動も積極的に実施することができており、充実した実習環境を提供できている。一方退学率に関しては特に1年生に課題があるので、今後、その改善に力を入れて取り組み、また実習などに対する生徒への動機づけなども強化していきたい。引き続き、地域・企業との関係性の構築の強化、教員研修や、情報収集を積極的に行うことなどにより、更に社会のニーズに合わせた授業展開、授業の質向上に努め、沖縄県、日本の健康問題解決、スポーツ業界の発展に貢献できるよう、さらなる沖縄校の発展を目指す。